

2014年6月20日
日本体育図書館協議会
2014年度(第33回)総会講演会

する・みる・ささえるの スポーツ文化

～子ども／青少年のスポーツライフ・データ2013より～

武長 理栄(笹川スポーツ財団)



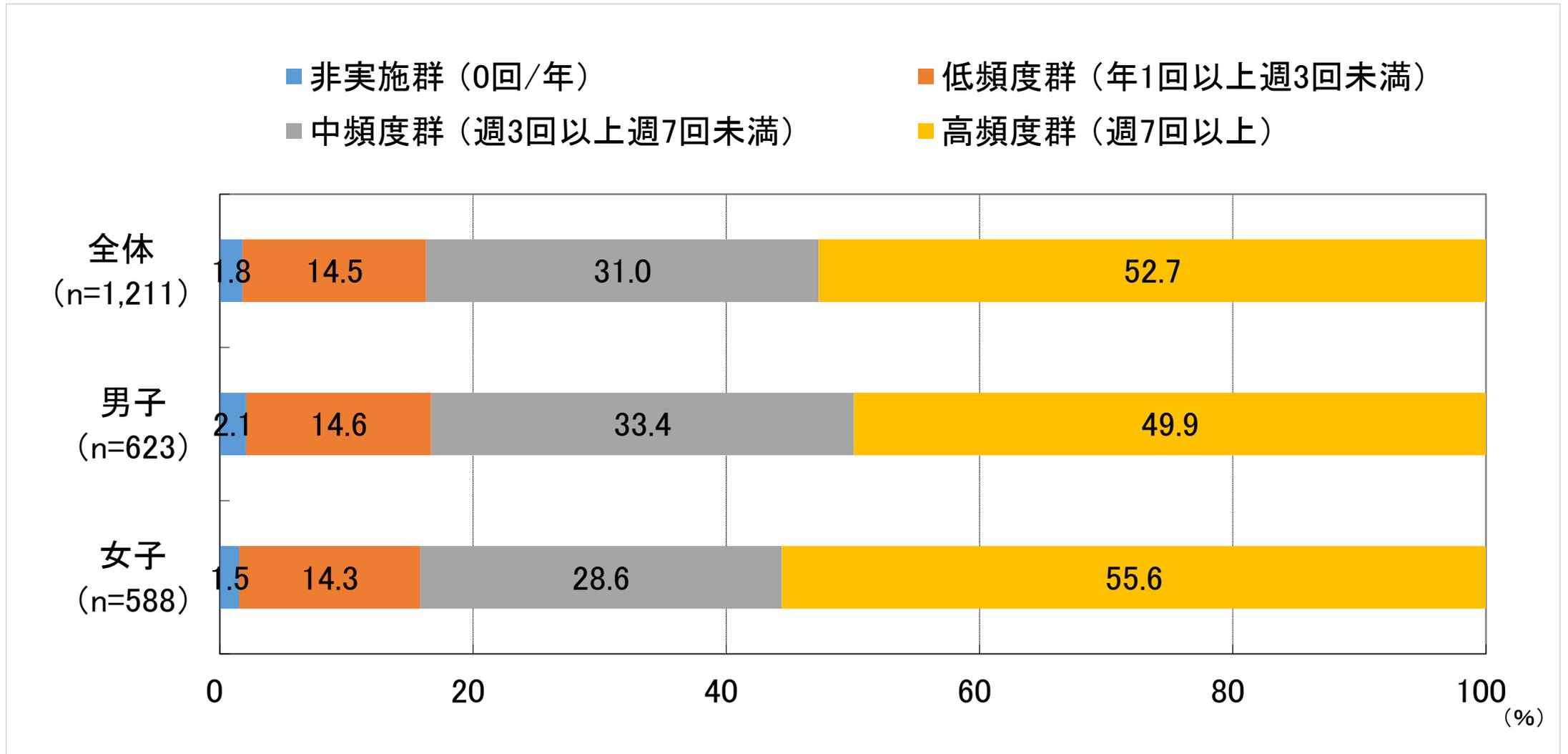
子ども／青少年の スポーツライフ・データ2013



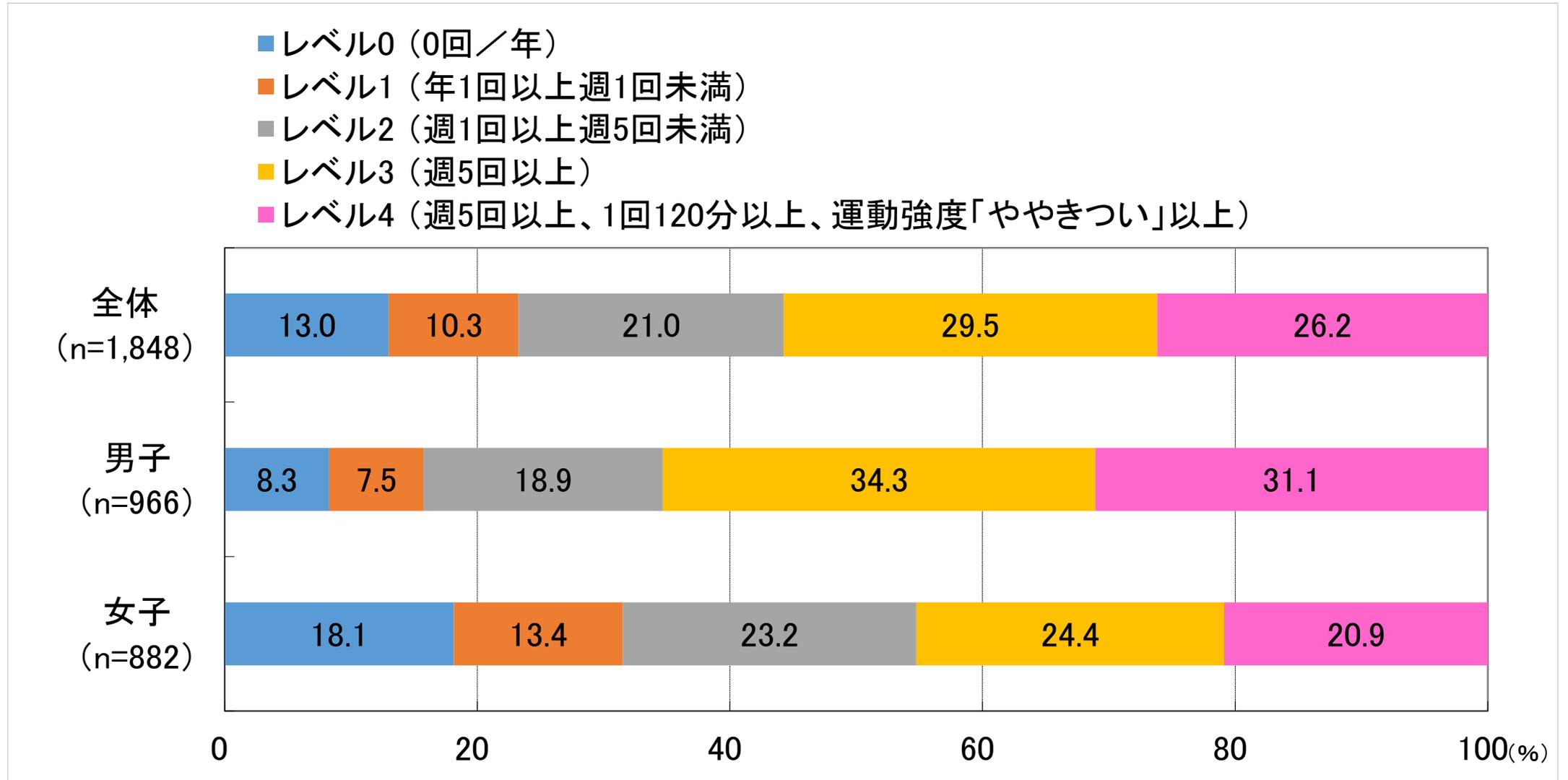
放課後や休日における子どもの運動・スポーツ 実施状況を把握する

- ◆調査対象：
全国の市区町村に在住する4～9歳(1,800人)、10～19歳(3,000人)
- ◆調査内容：
運動・スポーツ実施状況、スポーツクラブ・運動部、スポーツ観戦、スポーツボランティア
習いごと、スポーツへの態度、生活習慣・健康、家族での運動・スポーツ実施状況 など
- ◆調査方法：
訪問留置法による質問紙調査

4～9歳の運動・スポーツ実施率



10代の運動・スポーツ実施率



過去1年間に「よく行った」運動・スポーツ

4～9歳			10代		
順位	実施種目	実施率(%)	順位	実施種目	実施率(%)
1	おにごっこ	49.9	1	サッカー	28.2
2	水泳(スイミング)	37.7	2	バスケットボール	21.5
3	自転車あそび	35.6	3	おにごっこ	21.3
4	ぶらんこ	29.8	4	ジョギング・ランニング	19.3
5	サッカー	28.8	5	水泳(スイミング)	17.1
6	ドッジボール	26.7		ドッジボール	17.1
7	なわとび(長なわとびを含む)	26.1	7	バドミントン	16.7
8	鉄棒	21.7	8	筋カトレーニング	15.1
9	かくれんぼ	21.1	9	野球	15.0
10	かけっこ	18.8	10	バレーボール	12.4

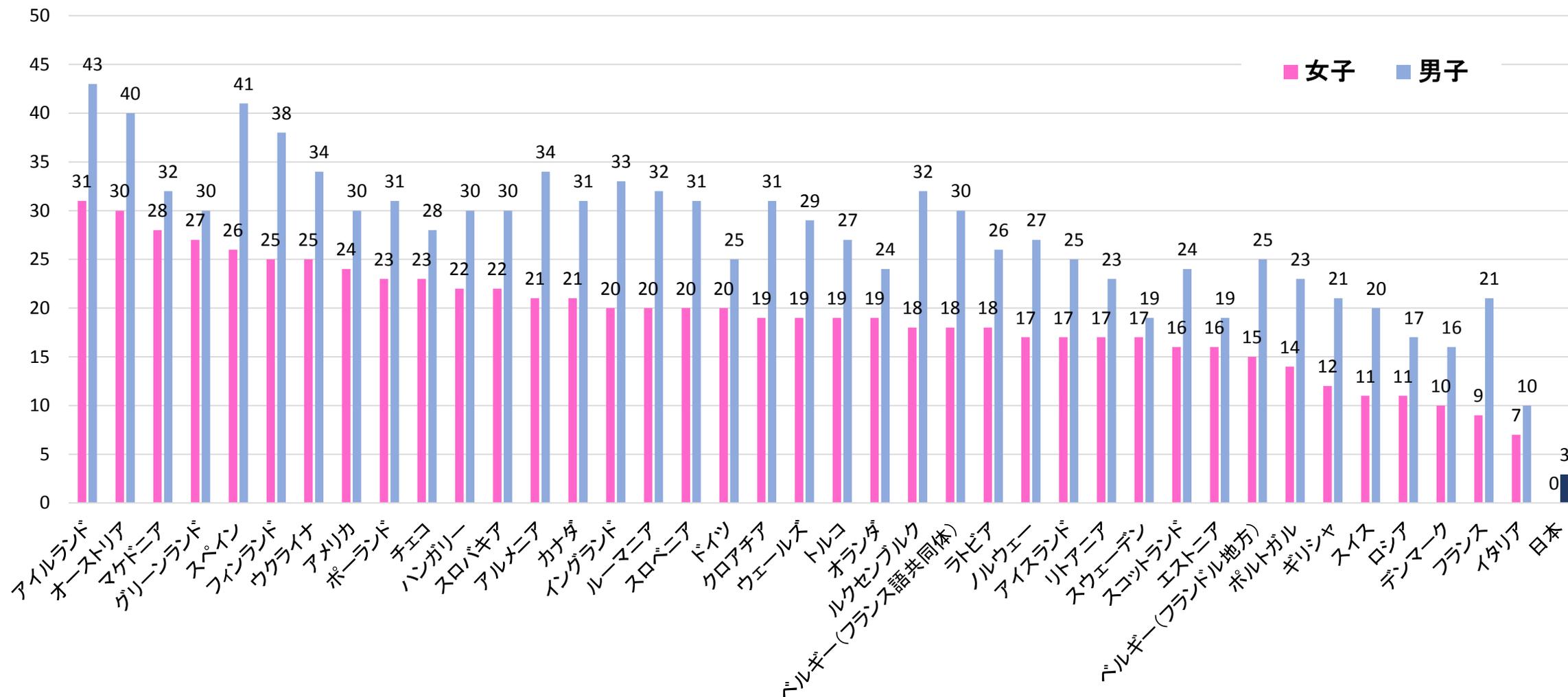
小学1年生～高校3年生の過去1年間に「よく行った」運動・スポーツ(男子)

順位	小学1年生(n=101)		順位	小学2年生(n=116)		順位	小学3年生(n=121)		順位	小学4年生(n=100)	
1	おにごっこ	51.5	1	サッカー	52.6	1	サッカー	54.5	1	サッカー	63.0
2	水泳(スイミング)	45.5	2	おにごっこ	46.6	2	水泳(スイミング)	48.8	2	ドッジボール	51.0
3	サッカー	44.6		水泳(スイミング)	46.6		ドッジボール	48.8	3	おにごっこ	48.0
4	かけっこ	35.6	4	ドッジボール	39.7	4	おにごっこ	47.9	4	水泳(スイミング)	39.0
5	自転車あそび	30.7	5	自転車あそび	34.5	5	自転車あそび	30.6	5	自転車あそび	23.0
順位	小学5年生(n=107)		順位	小学6年生(n=109)		順位	中学1年生(n=94)		順位	中学2年生(n=102)	
1	サッカー	62.6	1	サッカー	60.6	1	サッカー	43.6	1	サッカー	46.1
2	おにごっこ	46.7	2	ドッジボール	46.8	2	バスケットボール	36.2	2	野球	29.4
3	ドッジボール	44.9	3	おにごっこ	39.4	3	野球	30.9	3	バスケットボール	26.5
4	水泳(スイミング)	42.1	4	野球	27.5	4	おにごっこ	27.7	4	おにごっこ	20.6
5	野球	19.6	5	水泳(スイミング)	26.6		ドッジボール	27.7	5	ジョギング・ランニング	19.6
順位	中学3年生(n=103)		順位	高校1年生(n=90)		順位	高校2年生(n=73)		順位	高校3年生(n=89)	
1	サッカー	45.6	1	サッカー	40.0	1	サッカー	46.6	1	サッカー	33.7
2	野球	31.1	2	ジョギング・ランニング	31.1	2	筋力トレーニング	30.1	2	ジョギング・ランニング	27.0
3	ジョギング・ランニング	27.2	3	バスケットボール	27.8		バスケットボール	30.1	3	バスケットボール	25.8
4	筋力トレーニング	21.4	4	野球	25.6	4	野球	26.0	4	筋力トレーニング	24.7
5	バスケットボール	17.5	5	筋力トレーニング	22.2	5	ジョギング・ランニング	20.5		野球	24.7

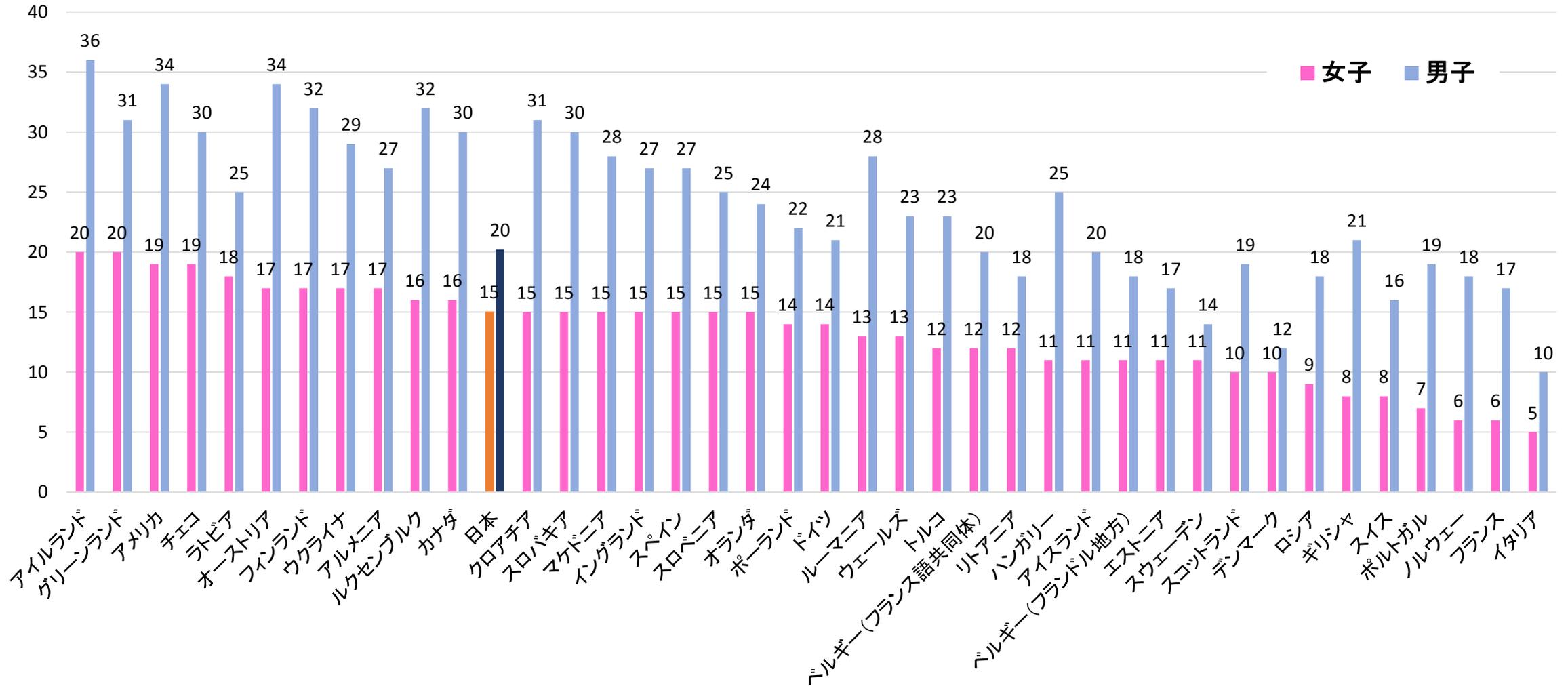
小学1年生～高校3年生の過去1年間に「よく行った」運動・スポーツ(女子)

順位	小学1年生(n=90)		順位	小学2年生(n=90)		順位	小学3年生(n=125)		順位	小学4年生(n=123)	
1	おにごっこ	53.3	1	おにごっこ	47.8	1	おにごっこ	49.6	1	おにごっこ	50.4
2	自転車あそび	46.7	2	水泳(スイミング)	40.0	2	自転車あそび	37.6	2	水泳(スイミング)	43.1
3	なわとび(長なわとびを含む)	43.3	3	なわとび(長なわとびを含む)	36.7	3	水泳(スイミング)	36.0	3	ドッジボール	39.0
4	鉄棒	37.8	4	鉄棒	34.4	4	なわとび(長なわとびを含む)	32.8	4	なわとび(長なわとびを含む)	37.4
5	ぶらんこ	33.3	5	自転車あそび	32.2		ぶらんこ	32.8	5	一輪車	23.6
順位	小学5年生(n=83)		順位	小学6年生(n=85)		順位	中学1年生(n=90)		順位	中学2年生(n=78)	
1	おにごっこ	49.4	1	おにごっこ	58.8	1	バドミントン	26.7	1	おにごっこ	28.2
2	ドッジボール	48.2	2	水泳(スイミング)	29.4	2	おにごっこ	25.6		バレーボール	28.2
3	なわとび(長なわとびを含む)	36.1		ドッジボール	29.4	3	水泳(スイミング)	24.4	3	なわとび(長なわとびを含む)	26.9
4	ぶらんこ	28.9	なわとび(長なわとびを含む)	29.4	4	バレーボール	21.1	4	バドミントン	23.1	
5	水泳(スイミング)	26.5	5	自転車あそび	23.5	5	ドッジボール	17.8	5	バスケットボール	21.8
順位	中学3年生(n=73)		順位	高校1年生(n=80)		順位	高校2年生(n=67)		順位	高校3年生(n=61)	
1	バレーボール	26.0	1	バドミントン	32.5	1	ジョギング・ランニング	25.4	1	ジョギング・ランニング	29.5
2	ジョギング・ランニング	21.9	2	バレーボール	31.3	2	ウォーキング	22.4		バレーボール	29.5
3	なわとび(長なわとびを含む)	19.2	3	ジョギング・ランニング	30.0		筋力トレーニング	22.4	3	バドミントン	21.3
4	筋力トレーニング	17.8	4	筋力トレーニング	22.5	4	バドミントン	20.9	4	筋力トレーニング	16.4
5	バスケットボール	17.8	5	バスケットボール	20.0	5	バスケットボール	16.4		バスケットボール	16.4

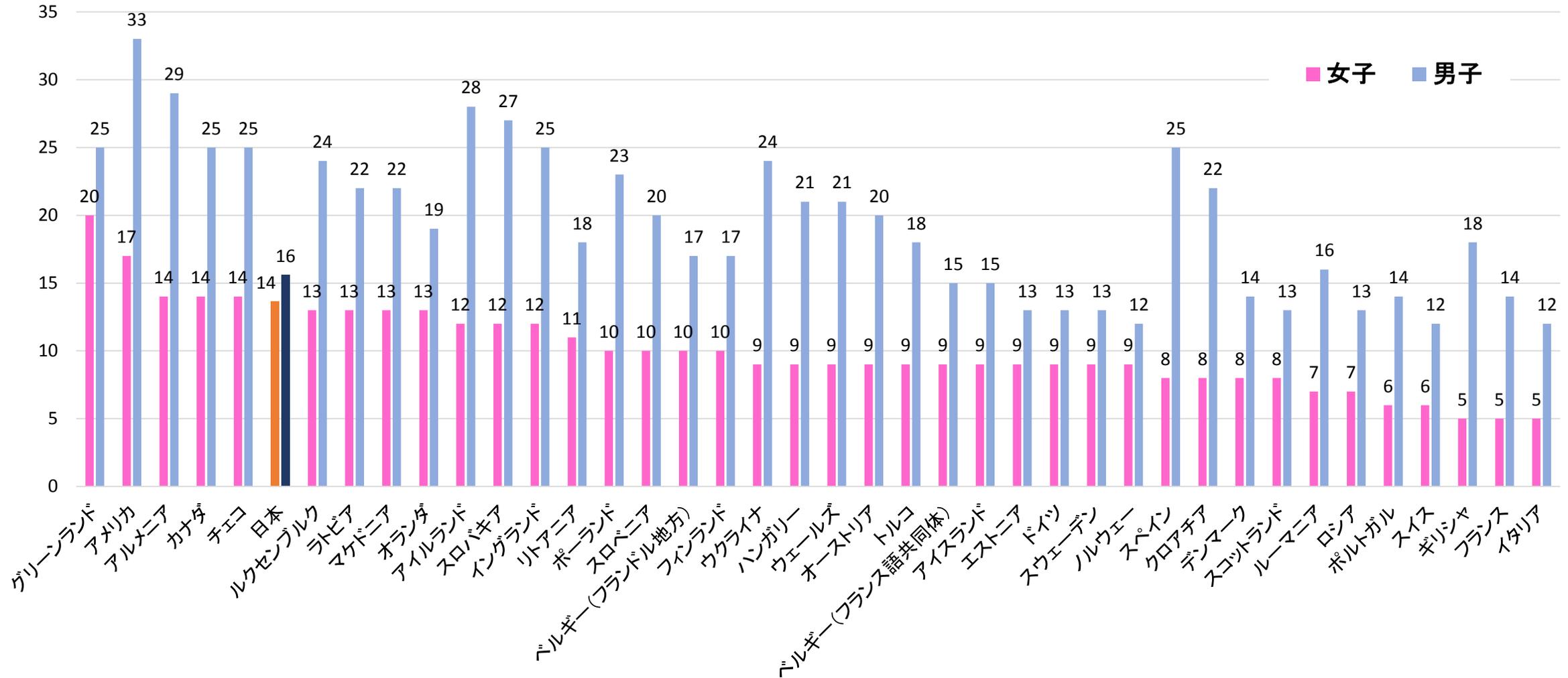
「活動的な身体活動」毎日1時間以上実施者の国際比較(11歳)



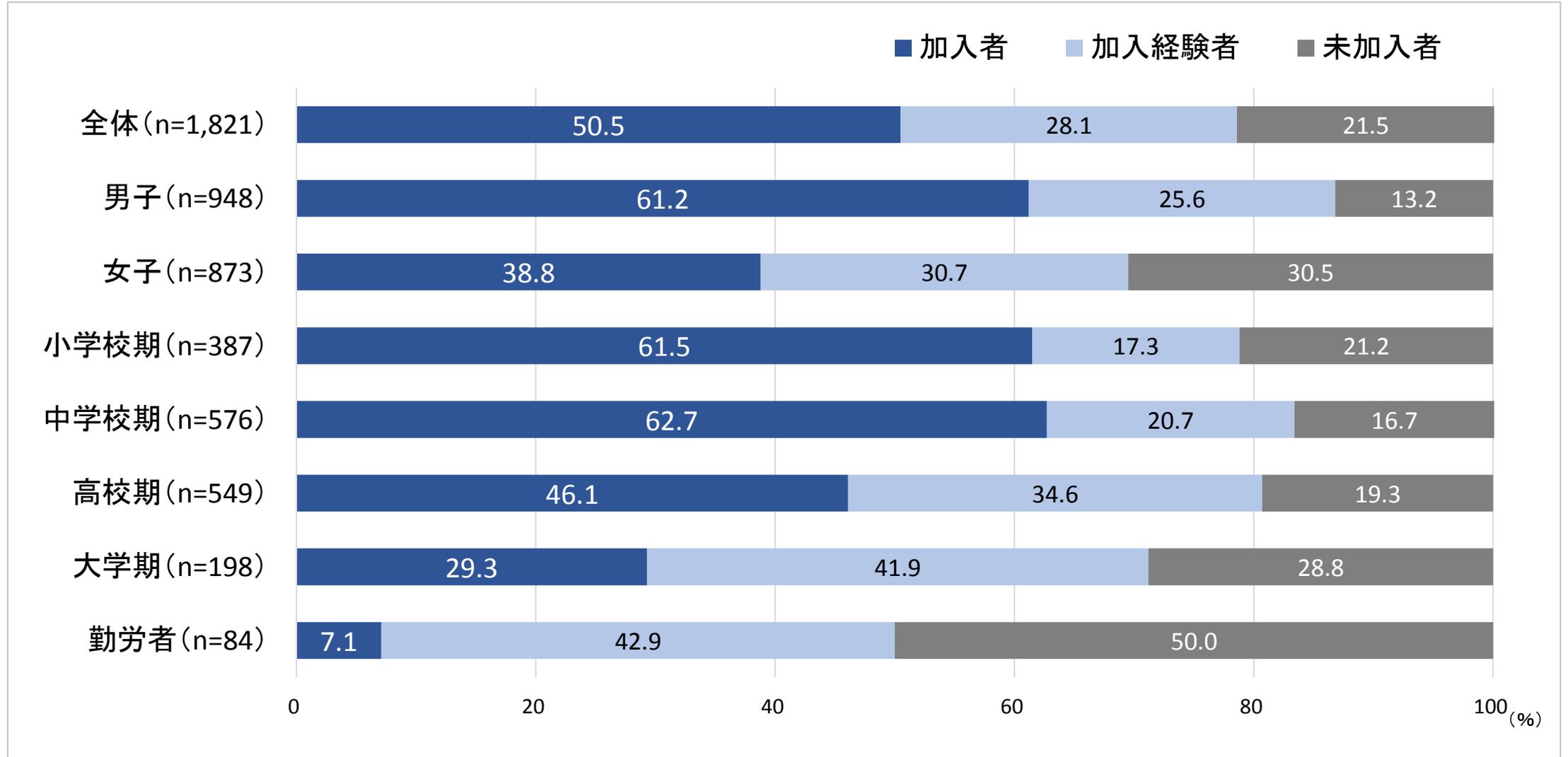
「活動的な身体活動」毎日1時間以上実施者の国際比較(13歳)



「活動的な身体活動」毎日1時間以上実施者の国際比較(15歳)

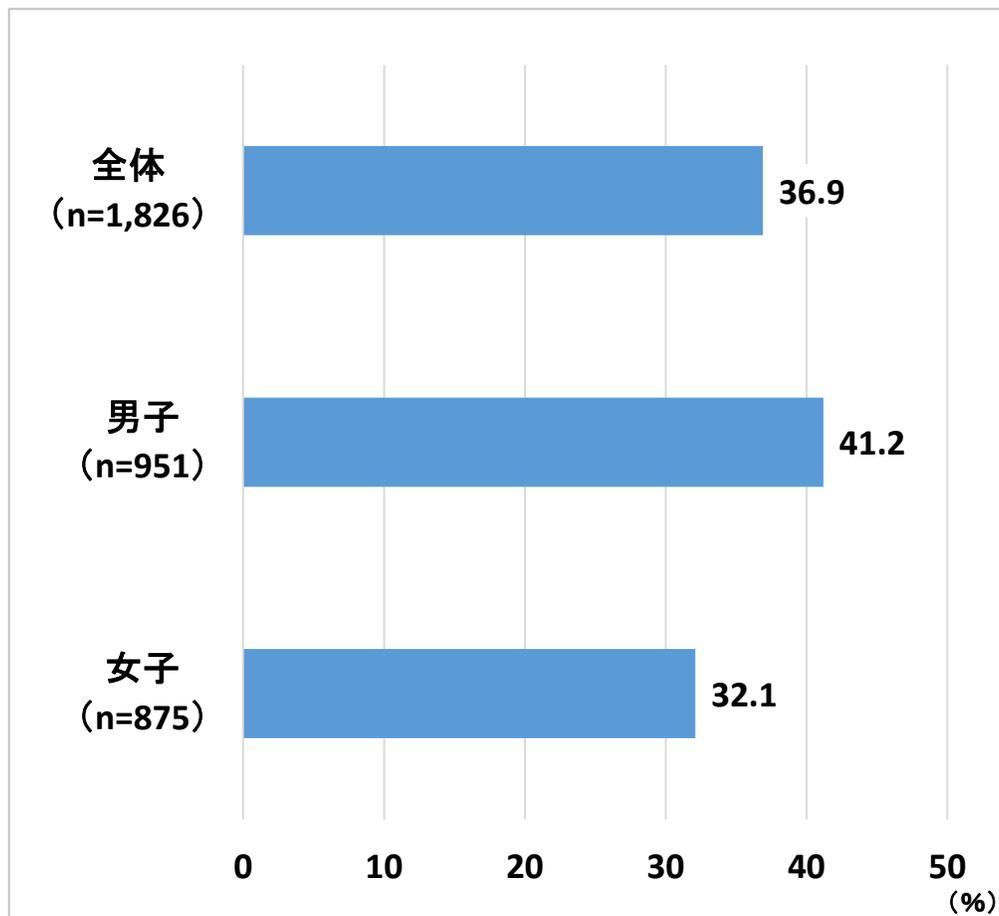


10代のスポーツクラブ・運動部への加入率



10代の直接スポーツ観戦

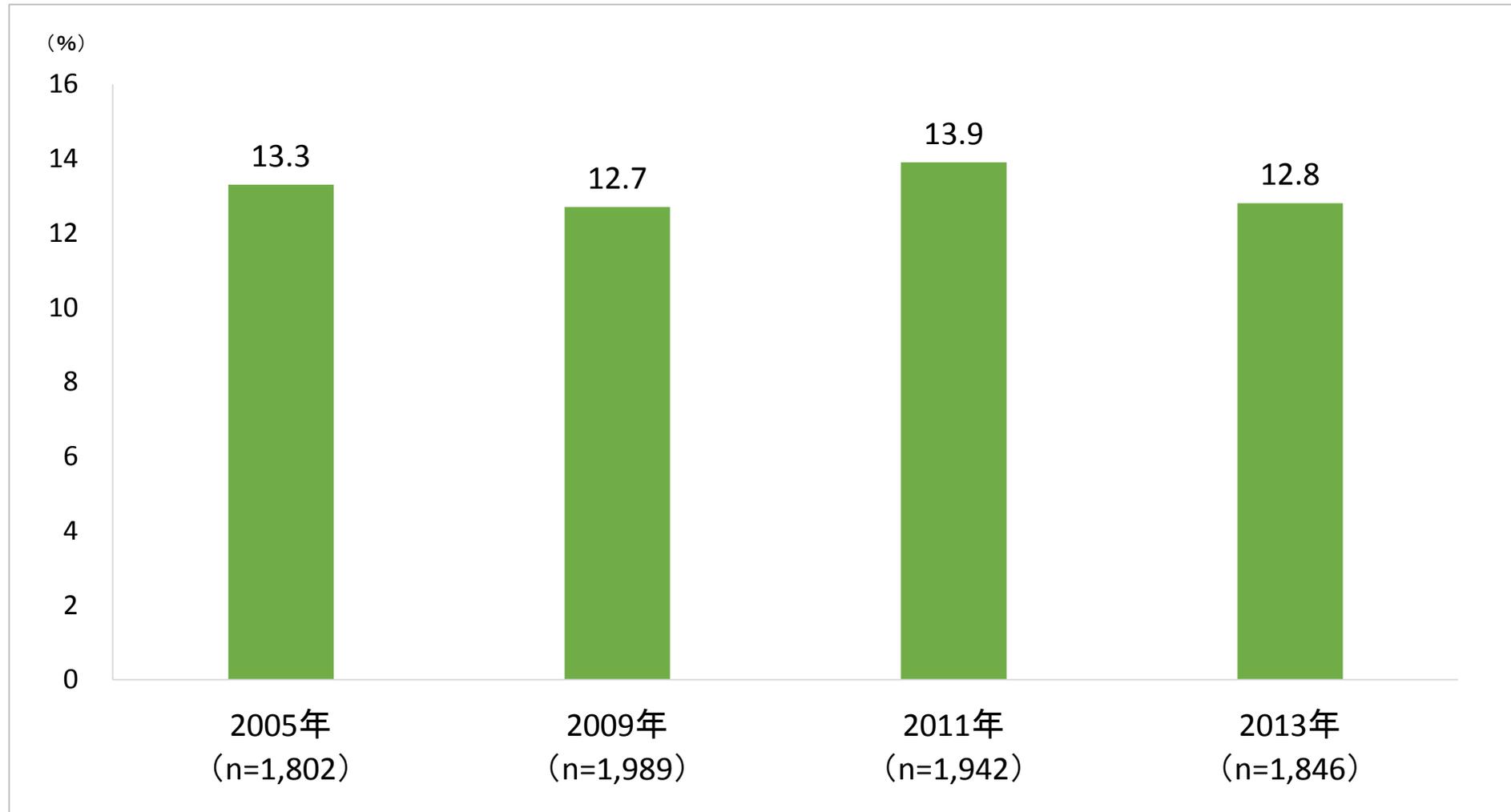
直接スポーツ観戦率(全体、性別)



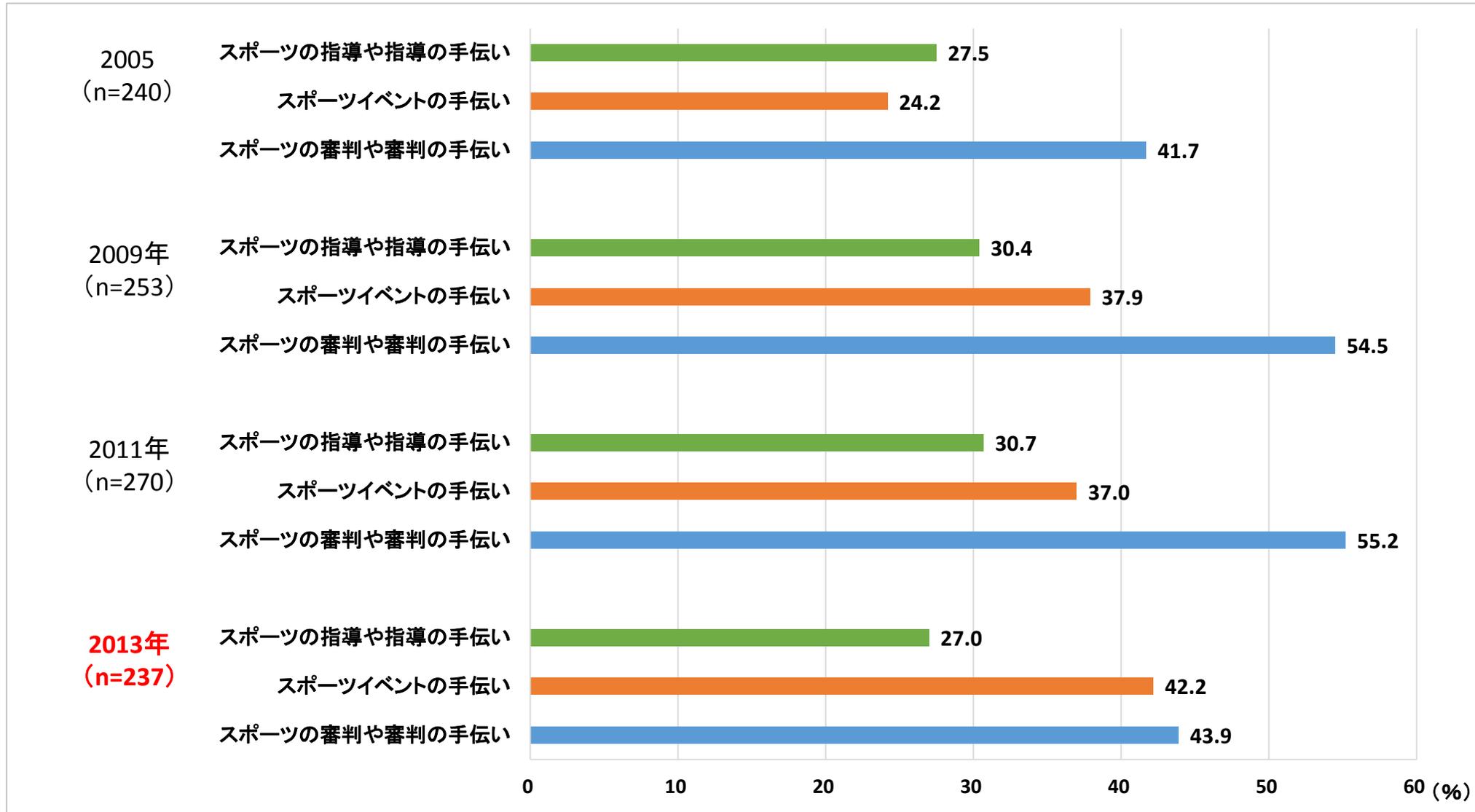
直接観戦したスポーツ(n=1,826)

順位	種目	全体 (%)
1	プロ野球(NPB)	13.7
2	高校野球	7.9
3	Jリーグ(J1、J2)	6.5
4	バスケットボール(高校、大学、JBLなど)	3.8
5	サッカー(高校、大学、JFLなど)	3.5
6	マラソン・駅伝	3.3
7	バレーボール(高校、大学、Vリーグなど)	2.8
8	プロバスケットボール(bjリーグ)	2.0
9	アマチュア野球(大学、社会人など)	1.5
10	サッカー日本代表試合(五輪代表を含む)	0.8
	バレーボール(日本代表試合)	0.8
12	サッカー日本女子代表試合(なでしこジャパン)	0.5
	ラグビー	0.5

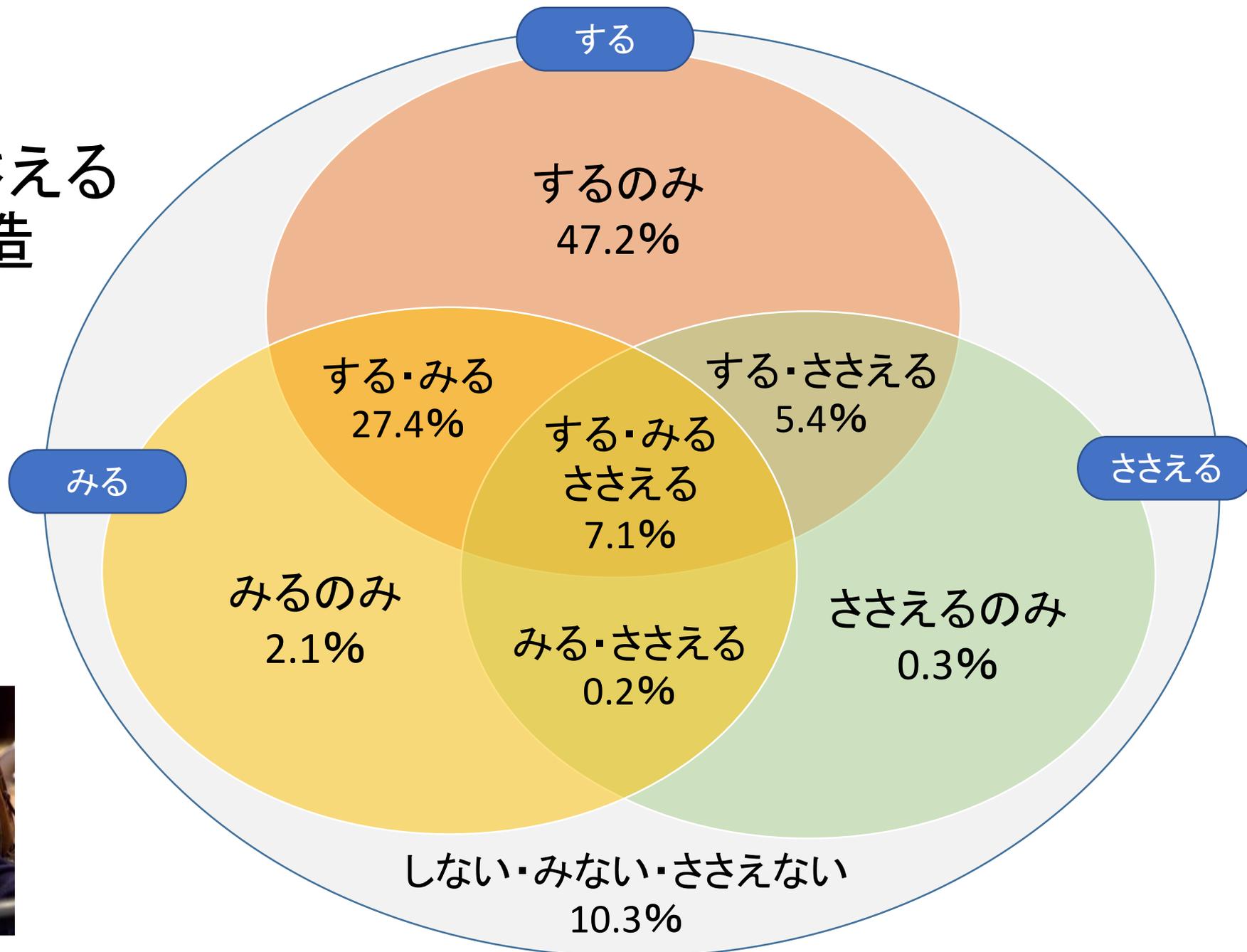
10代のスポーツボランティア実施率



スポーツボランティアの実施内容の年次推移(複数回答)



青少年の する・みる・ささえる スポーツの構造



1. 国のスポーツ政策の動向

(1) スポーツ基本法

1961年制定の「スポーツ振興法」を50年ぶりに改正し、スポーツに関する基本理念を定めた法律。国と地方公共団体の責務やスポーツ団体の努力等を明らかにするとともに、スポーツに関する施策の基本となる事項を定めている。2011年8月施行。

◆スポーツ基本法の最大の特徴

前文に「スポーツ権」を明記

「スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことは、全ての人々の権利であり、(中略)スポーツに親しみ、スポーツを楽しみ、又はスポーツを支える活動に参画することのできる機会が確保されなければならない。」

◆スポーツ振興法からスポーツ基本法へ

(生涯スポーツに関連する主な追加項目)

1) 国家戦略としてスポーツに関する施策を推進(前文)

国の責務(第三条)、地方公共団体の責務(第四条)等

2) 障害者のスポーツ振興(基本理念ほか)

施設整備(第十二条)、国体・障害者スポーツ大会(第二十六条)等

3) 学校施設の利用

利便性向上のための施設改修や照明施設の設置等(第十三条)

4) 学校における体育の充実

体育に関する指導の充実、施設の整備、教員の資質向上、地域における指導者等の活用(第十七条)

(2) スポーツ基本計画

スポーツ基本法第九条に基づき、2012年3月に策定。スポーツ基本法の理念を具体化し、今後のわが国のスポーツ施策の具体的な方向性を示すものとして、国、地方公共団体およびスポーツ団体等が一体となって施策を推進していくための重要な指針。10年間程度を見通した方針を定めるとともに、今年度からおおむね5年間に取り組む施策を体系化している。



主な政策目標(抜粋)

- 子どもの体力: 今後10年以内に昭和60年頃の水準を上回る
- 成人の週1回以上のスポーツ実施率が3人に2人(65%程度)
- 成人の週3回以上のスポーツ実施率が3人に1人(30%程度)
- オリンピックの金メダル獲得ランキング: 夏季5位以上、冬季10位以上

◆スポーツ基本計画に示された7施策

- 1) 学校と地域における子どものスポーツ機会の充実
- 2) ライフステージに応じたスポーツ活動の推進
- 3) 住民が主体的に参画する地域のスポーツ環境の整備
- 4) 国際競技力の向上に向けた人材育成やスポーツ環境整備
- 5) オリンピック等の招致・開催を通じた国際交流促進
- 6) スポーツ界の透明性、公平・公正性の向上
- 7) トップスポーツと地域スポーツの連携・協働の推進

◆スポーツ基本計画：生涯スポーツに関する記述（抜粋）

1) 学校と地域における子どものスポーツ機会の充実

（今後の具体的施策展開）

- 地方公共団体においては、運動部活動の充実のため、児童生徒のスポーツに関する多様なニーズに応える柔軟な運営等を行う取組を一層促進することが期待される。
- 学校体育団体等スポーツ団体においては、主催する大会等について、国や地方公共団体と協議しながら総合型クラブで活動する生徒等の参加を認めたり、（中略）検討することが期待される。

◆スポーツ基本計画：生涯スポーツに関する記述（抜粋）

3) 住民が主体的に参画する地域のスポーツ環境の整備

（今後の具体的施策展開）

- 地方公共団体においては、学校の体育に関する活動において、総合型クラブと連携し、地域のスポーツ指導者を積極的に活用することが期待される。
- 地方公共団体においては、休日におけるグラウンドや体育館の一般開放等の定期的な施設開放の実施や、時間帯・予約方法の工夫等による稼働率の向上を図るとともに、学校体育施設開放に係る責任・負担や利用調整等を地方公共団体・学校・地域が共同して担うことが可能となる施設の運営方法を検討し、共同利用化をより一層推進することが期待される。



子どもの運動・スポーツの課題

- ▶ 女子、体力・運動能力の低い子ども、障がいのある子どものスポーツ機会の充実
- ▶ 継続性のあるスポーツ環境
- ▶ スポーツとの様々な関わりができる環境の整備
⇒ する・みる・ささえる



生涯を通じた豊かなスポーツライフの形成